

## 会 議 録

会議の名称		第2回（仮称）中根金田台地区小学校開校準備委員会		
開催日時		令和6年11月14日（木） 開会 16：30 閉会 18：30		
開催場所		栗原交流センター		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	渡辺 オリエ、海老原 仁美、鶴田 真希、大崎 純一、 三石 祐季、大畠 ひろ美、荒巻 翔（代理）、飯塚 ちはる、 田原 裕希、山内 寛子、関 美智子、三輪 俊一、 小林 真理子、沼野 武		
	事務局	学務課課長 笹本 昌伸、学務課係長 大友 博幸 学務課主査 菅原 理恵、学務課主査 渡邊 美樹		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 校名案の選定について 2 校章案の選定方法について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議事 （1）校名案の選定について （2）校章案の選定方法について （3）その他 3 閉 会			

<審議内容>

1 開会

事務局：定刻となりましたので、それではこれより第2回（仮称）中根・金田台小学校の開校準備委員会を開会いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。次第に入ります前に、一つお願ひがございます。本日の委員会の方は、AIによる議事の文字起こしを自動で行うシステムの方を使用しております。このため大変お手数ですが、ご発言の際は、初めにお名前の方をおっしゃっていただきますようお願いいたします。

2 議事

事務局：それではこれより議事の方に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願ひしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

委員長：では皆様、本日もどうぞよろしくお願ひいたします。本日傍聴の方はいらっしやいません。それでは議事をお願ひいたします。まず、校名案の設定についてということですが、この点からご説明をお願ひします。

事務局：事務局です。資料1をご覧ください。前回の委員会で校名案の選定方法について公募を実施し、集まった候補の中から数点に絞ってアンケートを実施するというので決定していただきまして、今回、校名案の公募を実施しましたので、その結果についてご説明させていただきます。公募の概要につきまして、10月25日から11月7日の期間で、栗原小学校、栄小学校、九重小学校の児童と保護者、それから3校の通学区域内にお住まいの方を対象に、児童は応募用紙、保護者の方は電子申請届出サービスによって校名案をご応募いただきました。児童と保護者宛には各学校からご案内をしていただきまして、地域

の方には区会回覧のほか、栗原交流センターや桜交流センター、桜体育館、それから桜窓口センターと桜保健センターにチラシを設置いたしました。

その結果、2番の(1)の応募数なんですが、児童からは458件で保護者と地域の方から合わせて95件、合計して553件の応募がありまして、いただいた校名案としましては219件案が上がってきたというようなかたちです。詳細は資料の2-1に集計をしておりますが、漢字やひらがな・カタカナなどの読みの表記が同じものを合計して設定しております。一番多かったのが“さくら”というもので、全部で79件と続いて、“春風台”が74件、“さくらのもり”は「森」と「杜」で漢字が2種類あったんですけども、一緒に集計させていただいて、合わせて52件。続いて春風が35件というような形で集計をさせていただいております。資料の2-2、2-3に、児童それから保護者と地域の方、それぞれ挙げた理由を記載いただいていたので、そちらのまとめもご用意しておりますので、ご覧ください。ご応募いただいた中には、個人名を入れていただいている方などもいらっしゃいますので、扱いにはご注意くださいまして、会議の資料を公開する際には、その部分配慮をした上で公開をする予定でございます。

その結果を元に、本日の委員会ではアンケートの内容についてご協議をお願いできればと思います。資料の中に新設校の校名案のアンケートについてというものを入れさせていただいておりますが、保護者宛て通知文と児童用のアンケート用紙、それから電子申請のフォーム案をお渡しております。

アンケートの期間は、仮に11月18日から28日までとしておりますが、ちょっとこうずらしてと言いますか、こちらでちょっと準備が間に合うかなというところもあるので、間に合わない場合には、実施期間は変えずに日程を少しずらして実施させていただければと思っております。

それからアンケートに掲載する名前の理由・意味のところ、今ご覧いただいているんですけども、名前の方を皆様の案をそれぞれ掲載させていただいて、

理由や意味については、事務局の方で応募いただいたものの中から、主なものを選択して掲載させていただければと考えております。説明については以上になります。

委員長：はい、ただいま事務局からご説明がありました、校名案の公募結果に基づいて今後実施していくアンケートの内容について検討をしていきたいと思えます。まずアンケートの対象のところなんですが、今回の公募と同じように、栗原小学校、栄小学校、九重小学校の子供たちと保護者の皆様、地域の方々ということで、こちらはよろしいでしょうか。

事務局：はい、方法としましては、児童はアンケート用紙を配布、保護者・地域の方に関しては電子申請で応募いただくということで考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長：はい、ではそのようにお願いするかと思います。期間なんですが、先ほど事務局の方から提案がありました。11月18日月曜日から28日木曜日までということでいかがでしょうか。事務局は、それで間に合うということですね。

事務局：その予定ではいるんですけれども、ごめんなさい、少し後ろになってしまう可能性もありますので、その場合は、期間というか日数は変えずに、始まりだけちょっと遅らせてっていう形で対応できればと思います。

委員長：準備が整い次第ということですね。はい、よろしいでしょうか。では、校名案の候補の絞り込みなんですが、今回、皆様の結果をご覧いただいてから、候補を絞るところを進めていきたいと思えますので、まずお時間をちょっと取ってご覧いただいてもよろしいですか。はい、お願いいたします。

す。

(しばらくの間資料を閲覧する)

はい、ありがとうございます。それでは、候補を絞るにあたって何かご意見があればお願いします。

委員：私がまず思ったのは、本当の正式名称、例えば桜学園つくば市立何々小学校っていうふうになるんですね。その本当の正式名称と一緒にわかった方が良いのかなと。例えば私がこれを考えるときは、桜学園のつくば市立さくら小学校だとさくらさくらになるのかなんか、そういうところからもなんか皆さんが考えやすいように思います。なので、桜学園つくば市立何々小学校っていうふうになりますっていうのをアンケート用紙に記載した方が良いのかなっていうふうにはちょっと思いました。

委員長：はい、ありがとうございます。そうですね。アンケートの中に組み込んでおいた方が、子供たちがよりわかりやすいので嬉しいです。それでいくと、つくば市立さくら小学校の“さくら”の方はひらがなの“さくら”だと、またちょっと同じ桜が続いてもイメージが違うのかなっていうふうになるし、なんかそういうふうにご回答する人がこういう判断しやすいようにアンケートにされるといいんじゃないかなと思います。

はい。他にご意見はございますでしょうか。

委員：その新設される小学校の住所っていうのは、ちょっともう一度確認させていただきたいんですけども、住所はどうなっていますか。

事務局：番地としてはすぐ出ないんですけども、行政区として春風台になります。

委員長：つくば市春風台ですね。ありがとうございます。はい、ほかに何かご意見はありませんでしょうか。それでは資料 2-1 の方ですね。こちらが数が明らかになっているものなので、こちらを上から順にざっとご覧いただいて、子供たちが理由のところにいるところいろいろとこう書いてくれているんですけど、アンケートの例としては候補は 5 つなんですけれども、具体的にその 5 つでアンケートするか、もしくはそのざっと全部ご覧いただいたので、下の方にあってもそれも入れてアンケートやったほうがいいんじゃないのかなっていうものがあれば、皆様のご意見を伺いたいかなと思いますので、そのあたりもご検討いただければと思います。

これはこうしたいっていうのがありますか。アンケートに答えてくれた方々もすごく丁寧に考えてくれた結果でたくさん候補が挙がってきてるので、うん、皆さんのを推したいところではあるんですが、これはぜひというものがあれば、ご意見いただけるとありがたいです。

春風台南からは 5 % を切って 4 %、それ以下は 2 % 1 % 0 % というところになってますので、そのあたりを聞いていこうかなというふうには考えるんですけども、ただ先ほども言いましたけれども、ご覧になっていただいて、やっぱりこれは残した方がいいっていうのがあれば、それでもいいのかなと思うんですけど。

委員：私はまず 3 段目までは必要かなって思ってます。それで、新設校の場所は行政区は春風台で、その南側になるのかなと思うんですけど、それで春風台南は票数としては 22 になるんですけど、北に住んでいるものとしては、別に春風台だけ良くないかなっていうふうに思ってるんです。

なので、あえて北と南とかなんか、そういうところを名前につける必要あるのかなって思って。そうすると、候補に挙がっている春風台だけでいいのかなと

思います。

委員長：今3番目まではアンケートに入れたらいいのかなって意見をいただきました。はい。他はいかがでしょうか。

委員：はい。私もそう思います。というのも候補としては私も五番目までになるかなと思ったんですが、割とその4・5の春風・春風台南になると、2の春風台とこうかぶっているところがあるので。そうすると1番の“さくら”のひらがな表記と漢字表記で2つ、春風台の漢字表記のもので1つ、桜の“もり”の表記が違うもので、えっとフォレストの森ともう一つの杜の方です。それで5個。そうすると3番目までの中でほぼ候補が出てくるのかなっていうふうに私は思いました。それだとアンケートもやりやすいのかなとちょっと思いました。

委員長：内容まで細かく見ていただいて、漢字表記ひらがな表記で感じる印象っていうのも合わせた上で、3番目まで絞って、さらにそれを5つに分けるということですね。はい、そういうご意見もありますが、いかがでしょうか。

委員：たぶん春風台南は春風台の人数が多すぎて北と南に登校班を分けてるんですね。その関係で南の子は春風台南っていうのが多くて、実はうちの娘もそう書いたって言ってたので、多分その感覚で南と北で分けられているから、春風台南ってみんなが呼ぶので、自分の住所を春風台南みたいに思い込んで、それから学校で登校班を呼ぶその印象が強すぎて、春風台南がこう増えていったのかなっていうふうにちょっと思ったので、私も南はなくてもいいんじゃないかなって。南に住んでますけど、そう思ってます。

委員長：はい、皆様はいかがでしょう。

委員：えっと、さっきちょっとお話ってということで出たんですが、はるかぜって多分違う名前の書き方で同じ読み方の“はるかぜ”小学校が他にもあると思うんですけど、私もこの1・2・3番の中で、さっきおっしゃってた候補の5つでいいと思います。

委員長：ありがとうございます。では、今のところを総合しますと3番目までのところで“さくら”のひらがなの表記と漢字、それから3番のさくらのもりの“もり”のところを“森”と“杜”ということで5つにしていこうという感じで進めていってもよろしいでしょうか。

委員：さくらのもりの“さくら”ってひらがなですよ。

委員長：ひらがな、そうです。

委員：住所の桜は違うことがあるので確認でした。

委員長：はい。では5つということで候補が挙がりました。これでアンケートを実施したいと思います。

委員：春風台の漢字とひらがなの表記ですけど、あれは分けないんですか。春風台とかはるかぜ台か、ひらがなでも可愛いかなって感じに思ったわけです。

委員長：学年によって習う漢字が違って、春風台の表記が漢字だったりひらがなだったりするのは、書ける漢字が違うからって理由が大きいのかな

と思うんですね。なので、おそらく、このアンケートでの表記は、漢字が本来のものかと思うんです。ですので、春風台はそのまま分けなくて漢字でよろしいですか。はい。ありがとうございます。

それでは候補の1番は“さくら”はひらがなと漢字で、2番の春風台はそのまま漢字表記で、3番のさくらのもりは“もり”が漢字違いということで、以上5つで決定します。はい、ありがとうございました。

それでは続きまして、議事2の校章案の選定方法についてに進みたいと思います。事務局の方から説明をお願いします。

事務局：校章案の選定方法については、前回の委員会の中でもちょっとご説明させていただいたんですけども、改めて資料3-1の2番のところに選定方法の流れの例を載せておりますので、事務局としては、校章については最終的にはどなたかデザインに精通している方に作成していただいた方がいいのではないかな、と考えておりましたので、その例の中でもデザインの制作っていうのを流れの中に入れてさせていただいております。

例①は今回の校名案の流れと同じような形で、まずデザインの案を公募しまして、寄せられたデザイン案をもとに、校章案の制作を依頼し、制作していただいた校章案の中から再度アンケートを実施して、アンケートの結果をもとに最終選定をしていただくというのが①の流れになります。

②の流れは校章の制作までは①と同様ですが、その後アンケートは実施せずこちらの委員会の中で協議によって校章を最終選定していただくという流れになります。

例③は、公募は行わず、委員会の中でそのどういったデザインを制作していただくかという協議をしていただいて、制作していただいたデザイン案をもとにアンケートを実施し、アンケート結果から最終選定していただくという流れになります。

最後に、例④が公募もアンケートの実施もしない流れでして、この中でデザインの制作について協議していただいて、作成していただいたデザイン案を委員会の中で最終選定していただくというような流れになります。資料 3-2 にみどりの南小学校、みどりの南中学校の校章選定の流れを記載したものをお配りしております。みどりの南小学校、みどりの南中学校は、例①の公募とアンケートを実施する流れで、校章を選定いたしました。

デザインの公募については、冬休みを挟んだ 11 月 22 日から 1 月 11 日の期間で、児童生徒には応募用紙を配布して、保護者や地域の方にはホームページから応募のフォーマットをダウンロードしていただいて電子フォームか郵送などでご提出をいただきました。デザインの制作については、保護者や地域の方を対象とした応募用紙の中に、そういったことができる方がいらっしゃるかどうかというところをお伺いしたところです。公募した後に実際にデザインの制作をどういった内容で制作していただくかということの調整を委員会の中でやっていただきまして、資料 3-2 にあるような、何点制作していただくか、どういった点に留意して制作していただくかっていうようなところを、こちらの委員会の中で協議していただきまして、最終的に 3 名の方に 6 案、お一人 2 案ずつ作っていただいて、こちらも 3-2 の 4 にある 6 種類の校章を作成していただきまして、こちらの内容でアンケートを実施して、赤枠の下の段の真ん中のものがみどりの南小学校中学校の校章として最終選定をしたというような流れになります。資料 3-1 へと戻るんですが、3 の表のところにみどりの南の際の流れをもとに、このスケジュールを作成しております。次回第 3 回の委員会では校名案のアンケート結果をもとに校名案を最終選定していただき、その際に校章の公募の内容も確定をしていただくというようなスケジュールで、冬休みを挟んだ 12 月の中旬から 1 月の中旬頃までデザインの公募を行いまして、その後、制作の依頼と制作期間を挟んで 3 月の上旬から下旬頃にアンケートを実施する案として掲載をさせていただきます。

本日はこの例として4つ挙げさせていただいているような校章案の選定の流れについて、こういった流れで選定するか、デザインを制作していただくとしたら、もしどなたかお知り合いの方でいらっしゃるかとか、どういう形で願いますか、募るのかっていうところを少しお話していただければなと思います。事務局からは以上です。

委員長：では、ただいま事務局から説明がありましたので、校章案の選定について選定方法を検討して行きたいと思います。

資料3-1、2番のところに選定方法が①から④まで示されておりますので、皆様からのご意見をいただきたいと思います。

委員：質問なんですけれども、デザイン案が例えば公募でなかった場合は、どなたかお知り合いのデザイナーに制作をしていただくことになると思うんですが、お金っていうのはどうなんですか。

事務局：校章の制作についてはちょっと報酬とかそういったものがないので、無償で願いますっていただくというような形になります。

委員長：もし委員の中で、私がデザインしますという方がいらっしゃったら、ぜひお願いしたいところなんです。

委員：みどりの南小学校の時のデザイン方法について、私がこういうものが苦手なので、ちょっと案を出すのは難しいなあと思ったんですけど。デザイン候補として公募で件数が挙がってくるのでしょうか。

委員長：公募で挙がってくる件数は結構多いかなと思います。みどりの南の時

は小学校と中学校がありましたので、子供たちのその挙げるデザインのそのエッセンスを取り入れていただいて、こういうかたちにされるようなことになった。だからすべて一つのものから整っているわけではなくて、はい、子供たちとか近所の皆様から挙がってきたデザインもよいと思ってるんですけど、それらを集めてこう最終的に一つのもので出来上がるというかたちもありだと思います。その時にはデザイナーとお知り合いの方が委員の中にいらっしゃったんですよね。きっとね。

事務局：あとは、保護者向けの応募用紙の中にデザインできる方、ご協力いただける方いらっしゃいますかというところで項目を設けさせていただいて、そこにご記入いただいた方をお願いをしております。

委員：私たちの中で知らない方でもっとそういうデザインとかが有名な方とかいらっしゃると思うので、やっぱり最初にその公募をして、その中にちょっとデザインとか校章の制作にご協力できる人いませんか、っていうようなのを書いて、それでこうデザインできる人がこう見つかるということもあると思うので、なんかやっぱり最初に公募の中でこういうことをお願いしたいっていうのがあるといいかなと思ったのと、あともしこの私たちのこの学区内で自分なかなかデザイナーの方が見つからなかった場合に、例えばこのみどりの南の時にデザインをした方とかにまた依頼できるものなんですか。

委員長：この方々は、その自分たちの学区内の中でというか、自分たちの子が通う学校のデザインだから一生懸命やったけど、なかなか、そこまでのそういうことを仕事にしているわけではないっていう感じなのか、こう公式にお願いできるものなのか、という部分の確認ですね。

事務局：全員の方がみどりの南の時と同じように協力できるかまではわからないんですけども、そういったお話を私たちの方からすることは可能かなと思っています。

事務局：公募して、公募プラスできる人お願いしますっていうような一文を入れて、まず自分たちの地区とか保護者とか募って、ちょっと足りないようだったら、実際に以前新設校のデザインした方にお話ご相談するっていう方向性にすればいいかなとちょっと思います。

委員長：はい、まずは公募する用紙の方にデザイナーを募集する旨も一文入れていただければと思います。先ほどね、事務局からご説明ありましたので、いなかった場合にはお願いできればと思います。例の①の流れということになりますね。他に何かご意見はありますか。

委員：校章ができた後に学校のものについて、こうなんていうんですか、校舎に看板作って飾られたりとか、ジャージとかに校章を入れて作って販売したりだとか、いろいろこう形を変えて利用するのでロゴが何パターンか必要になってくると思うんですけど、そういった何パターンかを取らなきゃいけないみたいな流れとかは前はあったんですか。デザインの依頼はこれで終わったんですか。

事務局：デザイナーの方に作っていただいて選定したこのロゴを、このままカラーとか白黒とか、そういったところは場面によって変えたりしながら、これをそのまま使うというような形ですね。

委員：それでもう済んじゃうというか、うん、それ以上の仕事はないんですね。

事務局：そうですね。みどりの南の時には、最終的に選ばれたデザイナーの方についても、このカラーの指定と白黒バージョンというのを作って納品いただいたというところまでで終了になりまして、その後はその校章を使って、確かに体操服の中でちょっと収まりが悪いのでどうしようっていうのは、今度は体操服メーカーさんの方で、この程度の装飾をしますか、というようなところをまた開校準備委員会に図るようなことはありましたが、校章としてまあ学校に掲示するという形でいただくというところまででお願いしているところですね。

委員：わかりました。ありがとうございます。

委員長：他にご質問とかご意見とかありませんか。

でしたら決を採ってもよろしいですか。はいそれでは、校章案の選定方法ということで検討しております。例①の方がいいと思う方、挙手をお願いします。はいでは例②、この選定方法が良いのではないかと思う方、はいでは例①の方の選定方法で対応する方法でよろしいでしょうか。では事務局さんの方でよろしくをお願いします。

ひとつ、これからそういうデザインをしてもいいですっていうような方をそのように募集していただくんですが、今現在、この中で、例えばお知り合いでデザイナーをしているとか、時間をご自由にできたのでとか、そういう方がいらっしやれば。

委員：すみません。私、小学校でボランティアやってるんですけど、一緒にボランティア活動しているお母さんで、ものすごいイラストがお上手な方がいらっしやるんですね。いつもこうボランティアでイラスト描いていただいたりす

る方はいらっしゃるんですけど、ここまではどうかわかんない。

委員長：お話ししていただけるのはいいかもしれないですね。はい。そういうことを引き受けていただけるかをご確認いただいて、その時にはお願いできればと思います。

では議事3の方に移ってしまってもよろしいでしょうか。それでは事務局からお願いします。

事務局：はい、現在、つくば市の関係部署において小学校が建設される土地の西側とか、南側の道路について横断歩道などの整備っていうのは調整を進めているところです。

今後、各地域から新設校までの通学路として想定される道路などで、危険箇所とか対策が必要だなと思われるような箇所というのはもちろん挙げていただいて、ピックアップしたものを事務局の方で関係各所に整備の方も調整をさせていただければと思っております。

また今後の委員会の中でご案内をさせていただきます。お住まいの地域などで今後確認をお願いすることになると思いますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上です。

委員長：はい、じゃあ、ただいまの説明について何かご質問等ありますでしょうか。

委員：はい、すみません、ちょっと関係ない話になるかもしれないんですけど、通学路はこの委員会でこう話し合いをして決めていくと思うんですけど、ええ各地区の登校班とかはそこは関係ないですか。

事務局：そうですね。ちょっとどの地域のどういう登校班っていうのはちょっとこちらの委員会の中ではなく、最終的には学校とかとの調整っていう。

委員：各学校で、栗原小の方は、栗原小でっていう形になりますかね。

事務局：今後は3校にまたがって新設校の形になるので、ちょっと学校の中でもきっと事務の割振りとかも出てきてしまうかなと思います。まあ、一番最初は今就学されている学校がそれぞれ別れる時に、じゃあ、春風台の人はこうさくらの森の人がこう、流星台の人はこうみたいなところは、それぞれの学校とのご相談が一番最初にはなってくると思いますが、ちょっとまだ令和8年度に向けて学校側の体制もちょっとまだ明確に定まっているということではないかなと私たちも承知していますので、ちょっとこれもやりながらというところにはなってくるかなと思っています。

委員：すみません、この辺でちょっと地区委員をやっていて、その新設校の登校班はどうなるのかっていうのがあって、栗原小は地区ごとにもう委員を出して基本全員登校班なんですけど、多分それも学校によって違うので、地区委員を決めるの結構早い段階で決めるんですね。ギリギリで決めると登校班作れないんですよ。

そういったのもあって、ちょっともう今次の年の地区委員を決める段階なので、来年の今頃にはもうその次の時どうするかっていう話になっているので、まあできればそこも通学路がある程度決まるのであれば、その各地区でどういうふうに登校して行くのかを地区ごとにもしてもらえるのかとか、もう、こういう統一して決めてしまうのかとかをまあ、ちょっと3月からだととても遅いので、そこはちょっと早めに登校班とかがわかると、まあ動きやすいかなと思います。はいよろしくお願いします。

委員長：以前と一緒に調整したときには、十歩歩いたらもう学校の敷地に出てしまうっていうお子さんも中にはいらっしゃるかなと思うので、はい、そういう地区の方たちが登校班が必要だろうかなということにもなっているのです。ただやっぱりそのそうでない地区ももちろんありますので、そのあたりは保護者の方でご相談をいただいで。

委員：それではもちろんそうなんですけど、自分達で決めるものって、そうなんです。

委員長：そうですね。登下校は、保護者の方の責任ということになってますので、まあ、もちろんそのうちは目の前だから登校班入りませんって動いてもいいですし、そのあたりの調整をしていただけるとありがたいです。

委員：私は自分が子供の時の世代もそうだったし、子供たちが今小学校に通っている時に最初、もう入学した時から登校班があったので、なんか登校班で登校するのがもう当たり前っていうようななんか感覚なんですけど、なんかその、それはあくまで任意って言ったらいいんですけど、その学校としては、学校に来る手段っていうのは、それぞれで選んでもらって構わないっていうような感じなのか、それとも、なんかそのやっぱり登校班でなるべくみんなで固まって登校するっていう、その辺のこうなんか認識のずれみたいなのをちょっと感じるようになってしまったんです。

委員：3つの学校から集まって1つの学校になるけれども、それぞれの地区でいいんじゃないっていうよりかは、ある程度その学校で方針っていうのが定まっていた方がいいのかなっていう気はします。その登校班が必要なのか、それ

それ選んで登校するのかっていうのは、学校とかからアドバイスがあってもいいのかなっていう気がちょっとします。それが、必ずしも学校からしてくださいって強制することじゃなくて、必ず登校班が必要ですよっていうことではないですよっていうお知らせもいいんですけど、なんかちょっとそういうのがないとね。みんな保護者は、ちょっとその登校班に行かなきゃいけないって思っている人と選べるってというような感覚の人と、ちょっとなんか違うのかなって。それぞれになっちゃってる気がするんですよ。

委員：まとめる方は、なんかこういうスタンスで取りまとめるかっていうのがちょっとわからないこともあって。特に新設校は3つの小学校が集まってくるから、多分それぞれの小学校で違うと思うんですよ。登校班の考え方が多分。九重小は子供会で登校班のことまとめているってきいたので。

委員：九重小の上ノ室地区は子供会が主体で取りまとめているですけど、その、地区はあくまで地区ですよ。地区によって子供会があるのかないのかも違いますし、上ノ室みたいに、もう昔から、子供会が強いというか、はい。

委員：多分、そもそももう人数が少なかったから、本当に一人で行かせるのは心配っていう流れがあったと思うんですよ。特に春風台は通学距離が長いので、だからこそもう最初から登校班にもう必然的に入学したら入るってというような感じで、受け入れる側のその在校生の保護者たちももう新入生を学校の方に名簿を聞いて、もう登校班を組んでってというようなことを、それこそ今ぐらいというか、まあ、年明けぐらいの新入生説明会あたりでその学校から名簿をいただいて、班を分けてっていうのをもうその年明けぐらいからやっていくっていうのをやっていたと思うんですけど。今度は割とみんなさくらの森や流星台、春風台みたいにこう近いところに学校ができるということで、その集団で

登校するその必要性とか、なんかそういうのをもう一度、保護者の人に希望みたいのを聞いてもいいんですかね。どうなんですかね。なんかこうバラバラになると困るなっていう感じはあります。あと、市としては学校としてはどういうふうに登校してきてほしいっていうのがあればなんか指針みたいなのをまあ、それはもう完全に地区ごとで相談してもらって構いませんっていうのなら、それでやるし、なんかこうふわっとしてるのが一番分かりにくいかなっていう気がするんですよね。はい。

事務局：実際も市内には、多くの学校がありますので、登校班がある学校もあれば、登校班を持たない学校もやはり実際ありますし、おそらくこれまで新しい学校新設で、分離した形で新しい学校ができている時にも、やはりその登校班を作らない学校っていうのは比較的多いのかなっていうのはあります。ただ、最終的には、もしかしたらこの中でそういった方向性を検討するのもいいのかもしれないかもしれません。あとは、去年までの事例で行くと、おそらくこの開校準備委員会とは別に、その分離前の学校内でも開校準備委員会というか、そういった組織なんかを設けたりしたような話も聞きます。市の方でも、各学校の校長先生なんかと相談して、どのような形が適切なのかとか、そういうところはちょっと共有をさせてもらえればとは思っています。

委員：3つの学校が集まるので、なんかそれぞれずっと自由に今までやってきた人たちがここに集まるから、はい。そのじゃあ4月1日から開校します。始めましょうって言って、集まったらちょっと遅いと思うんです。

事務局：あとは、研究学園小って市役所の近くなんですけど、あそこも一部登校班がないように思います。

事務局：研究学園小学校は、例えば学園南一丁目っていう括りで地区が一つあるんですけども、その中でも大きい道路を挟んで、学校からちょっとこう距離が近いところと遠いところっていう形で班が分かれるので、その道路を挟んで学校に近い側は、登校班が去年あたりに年度途中からなくなったりした経緯があると思います。

もう一方の道路を挟んで学校から距離がある方は、同じ学園南一丁目という地区だけでも、まだ登校班で登校しているっていう形で、地区の中でも各班ごとで違います。なので、状況に応じてこう決めていくような、地区の中で決めてその意見を学校に伝えて、学校の方でじゃあその形で大丈夫ですよっていうのであれば、その通りにしましょうっていう流れで、最初は登校班があったところがなくなったりとか、変わっていく事もあるのかなと思います。

委員長：あの、学校としてはやはりその登校班で来てくださって言い切れない立場というか、登校班はもちろんあった方が安全に登校できると思うんですが、登校班があった方がいいのではないのでしょうかというような、その提案というか、そういうことしか私たちも言えないんです。それは先ほどおっしゃったところかなと思うんですけど、学校の方で強制するというのはなかなか難しいところです。ですので、先ほど準備の段階でっておっしゃっていただいたように、それぞれが地区ごとで話し合っ、各地区の状況を念頭に皆さんにお話し合いをしていただいた上で、ここは近いから登校班がいないかなとか、ここはやっぱりあった方がいいよねとか、そういうような感じで進めていただくとか、その進め方についてのアナウンスというのをしていければいいのかなと思いますね。

委員：そう、そうなんですよね。登校班については各地区にお任せします、学校でこの方法が絶対ですとは言いませんっていうのをアナウンスしてくれない

と、多分それぞれの地区でも迷ってしまうかなとかっていうのもあって。登校班じゃないってなくても良いって言われると、じゃあ私は登校班は辞めます、立哨登板もやりませんみたいな話が、ちょっとこう出てきて困ってしまうところもまあ正直あると思うので。もちろんうちの地区にそういう人はいませんけど。まあ一部の地区ではそういう問題もあると思うんです。

まあ、それも自由と言われれば仕方ないんですけど、保護者を取りまとめる立場としては、学校で地区に任せますよって言ってもらえれば、じゃあ地区としてこう動きますっていうのを決めていこうっていう動きが取れるので。

新しい学校ができて、三校が集まるときに、各学校から各地区に新設学校については登校班は各地区にお任せしますっていう話さえ改めてお話ししてくれば、あとは地区ごとでアンケート取るなら取るで、どうするのか決めて、やれると思うんですね。

委員長：むしろ、開校準備委員会としてここでお話することも必要ですけど、やはりそれぞれの学校の状況が違ってくるかと思うので、そうすると、一旦それはそれぞれの学校に持ち帰った上で検討が必要なのかなっていうふうにお話を伺いながら思ってたんですけど。ちょっと間違っていたら申し訳ないんですけど、通学路はこの委員会の中で決めるんですよね。

事務局：どこを通るかを決めるというよりは、整備する必要があるところを挙げていただいて、事前にこちらで対策が取れるところは取っておくということでお伺いするので、通る道をこの中で、この地区からこの道を通って学校に行きましょうっていう道をここで決めるわけではないんです。

委員長：あ、そうなんですね。勘違いしていました。私が心配した、あのミニストップのところの十字路って、歩道があるのかないのかギリギリぐらいのと

ころに線が引いてあってですね。あそこを自分がその車ですれすれで通っていると、すごく怖いといつも思うんですよね。例えばそういうところを挙げていただいて、注意書きの標識をしていただくとか、まあ、必要であれば、信号をつけていただくとか、そういう検討をしていくということですよ。

事務局：信号が欲しいとか、そういうのも事前に要望としてはあげていただいて、ただ実際に信号がつくかどうかというのは、調整をした結果、ちょっとここには難しいですとかっていうことはあるかもしれませんが、ひとまず要望としては挙げていただければと思います。

委員長：はい、わかりました。ただ、現状として、やっぱ信号というのはなかなかハードルが高そうですね。警察ともね、やりとりも必要になってくるので、なかなか「つけたいです。」「はい、そうします。」というわけにいかないもので、すみません。

委員：あの、基本的に学校の出入り口はどこにできるのでしょうか。現状としては、春風台とさくらの森側の中間とかそういう場所になるので、ちょうど校舎の西側に車が結構走ってる感じですよ。

事務局：ちょうどこの間の日曜日に建設工事に関する説明会がありました。その中で西側の出入り口をちょっと北側っていうんですかね、道路に面していない内側に少しずらすっていうような話がありました。そちらと南側の二か所が、多分入り口としては想定されるのかなと思います。

事務局：南側が一応正門というようなイメージで、西側には西門というのができますというところです。そして、この西門が説明会とかでお話しした西門よ

りも少し北にずれるかなという話が出ているというところと、あとまあ話題に出たところとしては、その西側の細い道路につきましては、学校側、学校敷地側については今、学校敷地を使って歩道を整備するという事で動いてはおります。まあ、住宅街側はもう住宅ができてますので、どうしようもないんですけども、学校側の方については、ちょっと広めと言っていいのかわかりませんが、歩道も作りますというところで検討されています。あと、西側につきましても、細い道路の方、横断歩道が設置できないかということで、区会からもご意見が挙がっていますし、警察とかとも協議はしているところです。

学校のすぐ南の十字路で、信号機が今ないところにつきましても、こちらとしても要望はもちろんさせていただいているところです。

委員：通学路となる道で危険なところをピックアップするのはわかったんですけど。例えばまあ、春風台とかに住む世帯以外で、桜地区なども今回の話に含まれるのでしょうか。

例えばうちはその、反町の森公園のところから細いところに向けて行くのが多分一番近いと思うんですけど、例えばそういうところなんかも想定をして、例えば、ここも整備した方がいいよっていうところなんか、ピックアップした方がいいのでしょうか。そこって、なんかどれぐらい重要なのかって、どれぐらいその桜から通える人がいるのかとか、ちょっとそこら辺どのぐらい需要があるのかどうかもわからなくて。なのでそこは例えばどの地域からどれぐらいの人が来るみたいなのところってというのがわかったりするんですか。

委員長：その危ないところのピックアップって私たちだけじゃなくて、各校の保護者に聞いてもいいですよ。学校のほうから保護者の方に危険箇所について、まあご相談というか、どうですかってきくというのはいいんじゃないかと思います。実際、やっぱりそこに住んでいて、そこが通学路になるっていう方

は危ないっていう認識を持っていると思いますので、今後PTA組織なども含めて、各学校で検討していくのでいいかなと思います。はい。

ここまでで何かご意見ほかにございますか。ないようでしたら、次回の委員会の予定を決めたいと思います。次回はアンケートの実施等を踏まえ、12月中旬で調整したいと思います。12月12日木曜日は大丈夫ですか。

事務局：では12月12日16時30分からということでよろしくお願いいたします。場所はこちらの栗原交流センターで行いますので、その際にアンケートの結果と校章デザインの公募案をこちらで決めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

委員長：では次回の日程が決まったところで、第2回開校準備委員会を終了します。どうもお疲れ様でした。ご協議ありがとうございました。

### 3 閉会